

横浜ドームを実現する会

Committee to achieve "YOKOHAMA DOME"



横浜ドームを実現する会
Committee to achieve "YOKOHAMA DOME"

INDEX

- 01 \ 横浜ドームの必要性
- 02 / 日本のドーム球場と
アメリカのボールパークの比較
- 03-04 / 計画地概要
- 05-06 \ コンセプト
- 07-09 / イメージ1
- 10-11 \ イメージ2
- 12 / 建物概要

「横浜のまちづくりを牽引し、弛まぬ活力を生む通年型多機能ドーム」

01 発信力のある、横浜の新たなランドマーク

「美しい港街」横浜のまちづくりを世界に発信する新たなランドマークとして横浜の発展に寄与します。



02 集客力のある、祝祭の場

羽田国際空港からのグローバルな集客を見込める場所に位置し、通年を通して利用できる多機能スペースとして常に賑わい溢れる「千客万来の都市」横浜の新たな集客拠点とします。



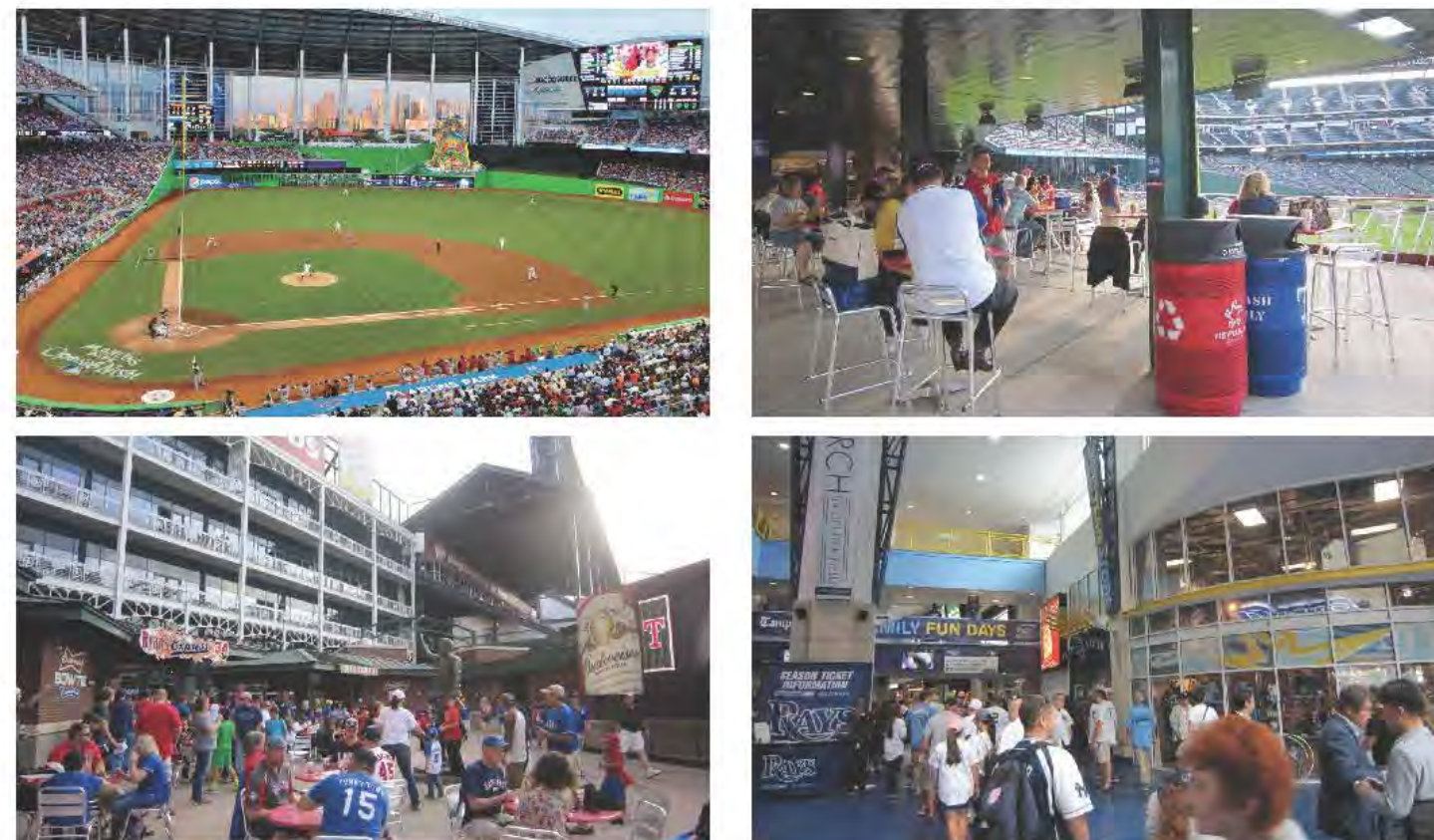
03 文化力のある、横浜の歴史を継承する交流拠点

開港以来、我が国有数の情報発信の窓口として栄えた横浜の歴史と文化を次世代に継承する景観を形成し、人々に愛される新たな交流拠点を実現します。



04 活力を生む、横浜ボールパーク

安全で快適な観戦環境の中で、子供からお年寄りまで誰もが楽しめる多彩なシートバリエーションにより、何度でも訪れたいような施設とします。また商業施設と連携した賑やかな空間づくりを行い、訪れる人々に活力を与える「ボールパーク」を実現します。



05 防災力のある、都心型避難施設

ドーム施設はトイレや飲料水・食料の確保も容易で、災害時には多くの市民を受け入れが可能です。万が一の停電時にも太陽光発電などの自然エネルギーで稼働するなど、一時避難施設として横浜のひと・まち・くらしを支える防災拠点とします。



日本のドーム球場とアメリカのボールパークの比較

街並との
関わり

日本のドーム球場

- ・ドーム単体でランドマークとして際立つ存在。
- ・中心市街地から少し離れた場所に位置するケースが多い。



東京ドーム



京セラドーム大阪



ナガイドーム



福岡ヤフオク!ドーム

商業施設の
位置づけ

- ・スタンド裏のコンコース部に位置するケースが多く、小規模店舗の集積となっている。



東京ドーム



札幌ドーム

球場外部への
開き方

- ・視線及び空間的にも外部とのつながるケースは少ない。



札幌ドーム



京セラドーム大阪

アメリカのボールパーク

- ・建物がフィールドを包む構成で、施設が街並に溶け込む親しみある景観をつくっている。
- ・街中の原っぱを起源としたボールパークの在り方が顕著に表われている。



Elysian Fields (1866)



Globe Life Park in Arlington



Chase Field



Globe Life Park in Arlington



PNC Park



Busch Stadium

- ・単なる球場ではなく、人々が楽しめるエンターテインメント空間となっている。
- ・大きなコンコースが設けられ、オープンで賑やかな商業空間となっている。



Globe Life Park in Arlington



Tropicana Field



Tropicana Field

- ・可動屋根や大きな可動壁等で外部とつながり、街の雰囲気を取り込まれている。



Marlins Park



Marlins Park



Minute Maid Park

● 横浜市の都市づくり



横浜は1859年の開港以来、我が国有数の港町として栄え、1980年代より進められた数々の都市デザイン政策は、都市問題への対処だけに留まらず都市の機能性・経済性と、美しさ・楽しさ・潤いなどの美的価値観が両立した素晴らしい港街として発展を遂げました。現在、横浜の都市構造が固まりつつある中で、世界的な社会構造・経済状況の変化に対する都市構造の見直し、環境意識の高まり、市民生活の更なる質の向上を目指し、2059年（開港200周年）を見据えた都市づくりが進められています。

● 都心臨海部・インナーハーバー整備構想



本提案では横浜の未来を見据えた計画として「都心臨海部・インナーハーバー整備構想」に基づいた計画とします。「インナーリング」は、既存のインフラを最大限に生かしつつ、湾に向かって伸びる都市軸と呼応させることで横浜の都市全体に流動性と賑わいをもたらす、新たな市民活動領域を創出します。また、エリア同士のネットワークを構築することで、湾全体に向けて、新たな都市の可能性を引き出す魅力を備えています。

● 計画地周辺の主要施設



● アクセス

計画地周辺地区は、東京駅からは鉄道で約30分、東海道新幹線新横浜駅からは地下鉄で約15分と地区外からの交通アクセスに優れています。また、国際化された羽田空港からは首都高速湾岸線で約20分、成田空港からも車で約85分と国内、国外を問わずスムーズな移動が可能です。

● 主要道路

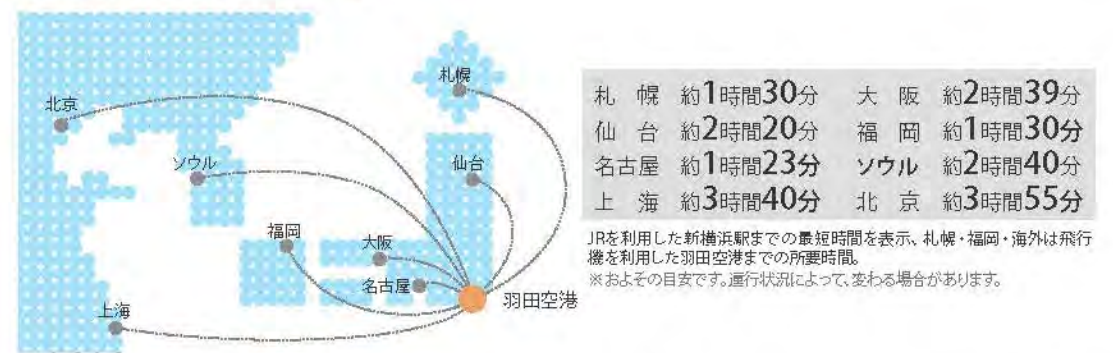


● 主要ターミナルからの所要時間

東京駅	JR東海道線	約25分	みなとみらい線	新高島駅	約2分
新宿駅	JR横須賀線	約30分	徒歩	徒歩	約5分
羽田空港	JR湘南新宿ライン	約31分(快速)	徒歩	イメージ1 計画地	約15分
成田空港	京浜急行線	約25分(標準)	徒歩	イメージ2 計画地	約7分
関西空港	JR成田エクスプレス	約87分	みなとみらい線	元町・中華街駅	約7分(特急)
	JR東海道新幹線	約11分	徒歩		
		約11分			

※乗り換え時間は含まれていません。

● 主要都市からのアクセス

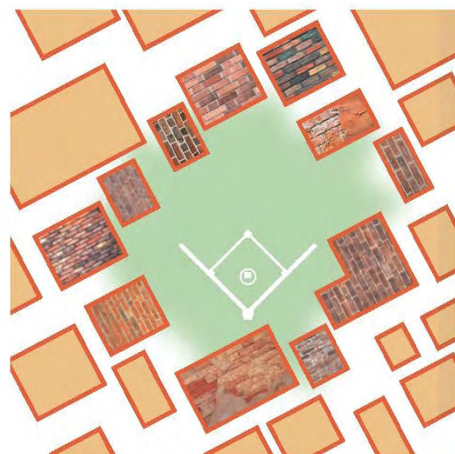


「横浜の^{レガシー}歴史文化を継承するボールパーク」

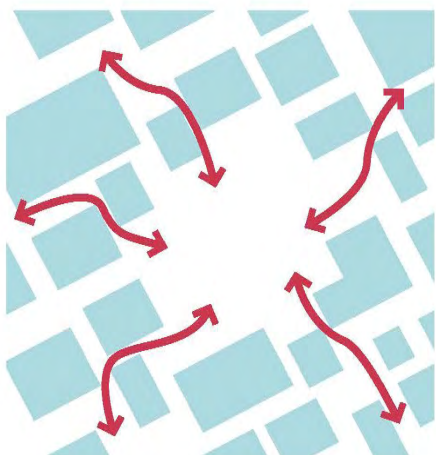
1. 原風景を呼び起こす



2. 街並に溶け込む



3. 新しい賑わいと活気が生まれる





点在する施設がつながり、まち全体に賑わいが広がる



パシフィコ横浜



横浜ランドマークタワー・クイーンズスクエア横浜
・ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル



横浜赤レンガ倉庫



大榎橋



山下公園

ビューポイントを意識

- ・スタジアムへの眺望を演出する
- ・港の風景を彷彿させる外観デザイン



高島水際線公園との連携

- ・高島水際線公園とスタジアムを一体的に利用する



街とつながるコンコース

- ・ボールパークの賑わいが溢れ出る開放的な外部コンコースを計画



赤レンガによる顔づくりと商業施設

- ・横浜の原風景を想起させるボールパークの顔
- ・商業空間で囲まれた街並みに溶け込むデザイン



Residential Area

BAY QUARTER
YOKOHAMA

View

SOGO
YOKOHAMA

View

Seaside Park

Ball Park

Development Area

YOKOHAMA
SKY BLDG.

Main Approach

View

Park

Station

みなとみらい線
新高島駅

Residential Area

PACIFICO
YOKOHAMA

ペDESTリアンデッキの延長

- ・ペDESTリアンデッキを延伸することで、横浜駅、新高島駅からボールパークへのスムーズなアクセスを実現





南面より望む / 鳥瞰イメージ



横浜ベイクォーターより望む / 外観イメージ



新高島駅方面より望む / アイレベルイメージ



親水公園側のイメージ



野球試合時のイメージ



エキサイティングシート



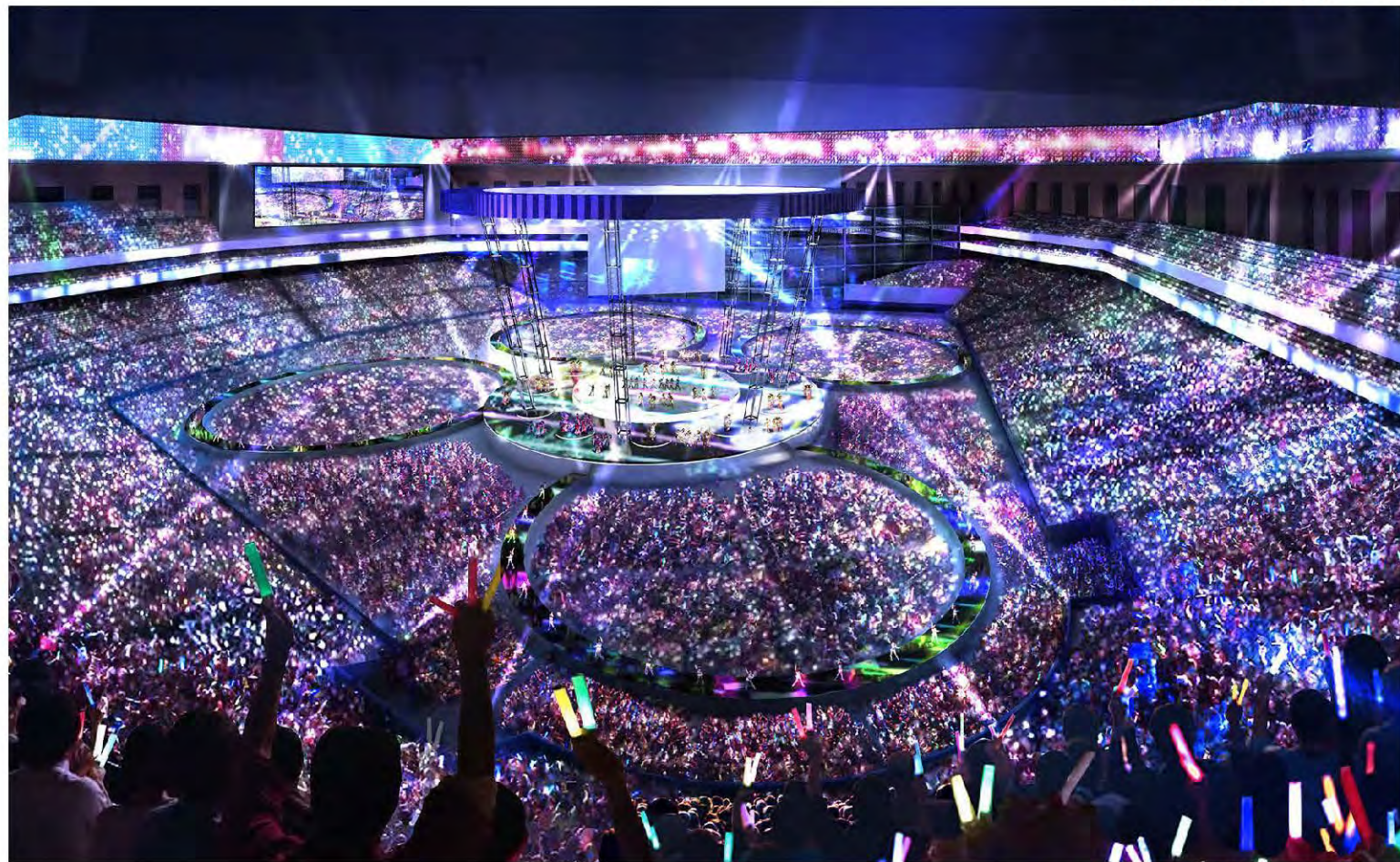
バルコニーシート



バルコニーシート



レストランシート



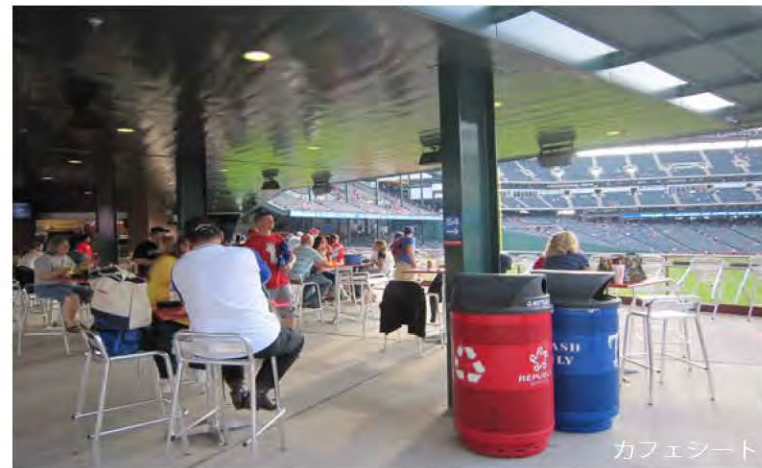
イベント開催時のイメージ



ボックスシート



プールシート



カフェシート



コンコース

多彩な観戦環境と賑わいあふれる商業空間のイメージ

エンターテインメントエリア

- ・敷地を横断するメインストリートから
アイストップとなるコンサートホール等の文化施設



カルチャーパーク

- ・山下公園から連続する市民公園
- ・テニスコート、フットサルコートなどのスポーツエリア、
水際のレストランやデッキ、芝生広場などのコミュニティエリア、
野外ステージやギャラリーなどの文化エリアが点在する憩いの空間



Bay bridge View

ホテル・カジノ・ショップエリア

- ・騒音対策及びセキュリティに配慮しながら、
海への眺望を確保できる突端部分に配置
- ・ゲートを設け、ホテルやカジノを集約する



ボールパーク

- ・敷地中央に配置することで、
どこからでも気軽にアプローチできる
- ・スタンドから海及びベイブリッジを見渡せる

Ball Park

Convention Area

ペDESTリアンデッキ

- ・大きな吹き抜けを介して、
全ての施設をゆるやかにつなぐ歩行空間

Terrace

Main Street

Commerce Area

2本のメインストリートとLRT

- ・敷地内に点在する各機能をつなぐ中央通り
- ・横浜全体のアクセス性を向上させる
新交通システムを計画

- MM21
- View

赤レンガによる顔づくりと商業エリア

- ・横浜の歴史を感じさせる赤レンガの表情
- ・湾の内側に向かって賑わいの顔をつくる

Yamashita Park





大さん橋側から望む/外観イメージ



北西側から望む/鳥瞰イメージ



各施設をつなぐデッキイメージ



商業エリアイメージ



“カルチャーパーク”イメージ



親水空間のイメージ

● 建物概要

イメージ 1

敷地面積	: 約 60,000㎡	
建築面積	: 50,000㎡	
	アリーナ部分	35,000㎡
	商業施設部分	15,000㎡
建蔽率	: 83% (≦ 100%)	
容積対象床面積	: 140,000㎡	
延床面積	: 170,000㎡	
	アリーナ部分	90,000㎡
	商業施設部分	50,000㎡
	駐車場部分	30,000㎡
容積率	: 233% (≦ 600%)	
用途	: 屋根付多目的観覧場、商業施設、駐車場	
階数	: 屋根付観覧施設 地上 5 階 地下 1 階	
天井高さ	: 60 m	
	フィールド面よりアリーナ部	
駐車台数	: 約 1,000 台	
アリーナ部席数	: 約 40,000 席	

イメージ 2

敷地面積	: 約 455,000㎡	
建築面積	: 約 161,000㎡	
	アリーナ部分	57,000㎡
	商業施設部分	52,000㎡
	ホテル・カジノ部分	16,000㎡
	文化施設部分	36,000㎡
建蔽率	: 35% (≦ 80%)	
容積対象床面積	: 558,500㎡	
延床面積	: 約 558,500㎡	
	アリーナ部分	205,000㎡
	商業施設部分	204,000㎡
	ホテル・カジノ部分	58,000㎡
	文化施設部分	91,500㎡
容積率	: 122% (≦ 400%)	
用途	: 屋根付多目的観覧場、商業施設、駐車場	
階数	: 屋根付観覧施設 地上 5 階 地下 1 階	
天井高さ	: 60 m	
	フィールド面よりアリーナ部	
駐車台数	: 約 3,000 台	
アリーナ部席数	: 約 50,000 席	

国内ドーム事例 (参考)

					
敷地面積	305,230 ㎡	112,456 ㎡	104,447 ㎡	34,618 ㎡	170,000 ㎡
建築面積	55,168 ㎡	46,755 ㎡	48,169 ㎡	33,800 ㎡	70,000 ㎡
延床面積	98,232.17 ㎡	119,707 ㎡	119,445 ㎡	156,400 ㎡	176,000 ㎡
最高高さ	地上 -m	地上 56.190m	地上 66.9m	地上 83m	地上 83.96m
天井高さ	68m	61.690m	64.3m	72m (プロ野球時は 60m)	68m
収容人数	約 53,738 人 (プロ野球時 約 42,270 人)	約 55,000 人 (プロ野球時 約 46,000 人)	約 40,500 人 (プロ野球時 約 38,200 人)	約 55,000 人 (プロ野球時 約 36,146 人)	約 38,561 人 (プロ野球時)
駐車台数	約 1,391 台	約 460 台	約 1,000 台	約 1,250 台	約 2,000 台
総工費	約 422 億円	約 350 億円	約 540 億円	約 498 億円	約 760 億円



2014.07.12

